

サブワーキンググループ（田村チーム）の検討状況と今後の方向性

令和 2 年 1 2 月 2 3 日

【 I . 産業安全の経済効果および社会的評価】

1. 産業安全の経済効果

(1) 産業安全の経済効果に関する実態調査 (2018 年)

* 2018 年全国委産業安全衛生大会官民協議会特別セッションで報告

(2) 産業安全の経済効果に関する良好事例の提供 (2019 年、2020 年)

①. ヒヤリング調査 (2019 年)

②. 良好事例の提供 (2020 年)

* 2019 年全国委産業安全衛生大会官民協議会特別セッションで一部報告

(3) 産業安全の経済効果の評価ツールの提案 (2019 年、2020 年、2021 年、2022 年)

安全対策の投資・支出額と便益

①. 評価ツールの概念整理 (2019 年)

②. 評価ツールの開発 (2020 年、2021 年、2022 年) (具体的計画は別添パワーポイント資料のとおり)

* 2019 年全国委産業安全衛生大会官民協議会特別セッションで一部報告

2. 産業安全の社会的評価に関する検討

(1) 産業安全の社会的評価に関する実施調査 (2017 年)

* 2017 年全国産業安全衛生大会官民協議会特別セッションで報告 :

安全表彰 : 安全活動より安全成績に重点

(2) 産業安全の社会的評価の考え方の整理 (2019 年、2020 年、2021 年)

産業安全の企業への効果、社会への効果

(3) 産業安全の社会的評価方法の調査 (2020 年、2021 年)

経営の安全理念、安全体制、安全活動、社会への情報発信、

安全成績 (直接、間接)

(4) 産業安全の社会的評価に伴うインセンティブに関する検討 (2020 年、2021 年、2022 年)

【Ⅱ. 産業界における安全教育の体系的プログラムの策定】

1. 階層別の安全教育の体系化と共有化

- (1) 階層別安全教育に関する実態調査 (2017年)
各産業分野、各階層が実施している安全教育プログラムのアンケート実施
* 2017年全国委産業安全衛生大会官民協議会特別セッションで報告
- (2) 階層別安全教育情報の体系的整理と情報提供 (2020年、2021年)
中災防「経営層を対象としたもの」
産業安全塾等の外部機関によるもので、提供可能なものの検討・紹介
職長の能力向上教育の検討・紹介

2. 体感安全教育の体系化と共有化

- (1) 危険体感教育の体系化 (2018年)
危険体感教育として必要な項目
* 2018年全国委産業安全衛生大会官民協議会特別セッションで報告
- (2) 体感安全教育に関する実態調査 (2018年)
各産業分野、各階層が必要とする項目
* 2018年全国委産業安全衛生大会官民協議会特別セッションで報告
- (3) 体感安全教育施設・設備に関する実態調査 (2019年)
体感安全教育施設の保有状況
* 2019年全国委産業安全衛生大会官民協議会特別セッションで報告
- (4) 体感安全教育施設等の共有化 (2019年、2020年、2021年)
体感安全教育施設の関係会社・下請等以外への利用の可能性
情報公開の方法の検討
* 2019年全国委産業安全衛生大会官民協議会特別セッションで一部報告
- (5) 体感安全教育資料の体系化と共有化 (2020年、2021年、2022年)
体感安全教育教材の体系化と情報提供、
まずは「はさまれ・まきこまれ」等数例紹介

3. 学校安全教育への協力

- (1) 学校安全教育への産業界の協力に関する実施調査 (2018年)
* 2018年全国委産業安全衛生大会官民協議会特別セッションで報告
- (2) 学校安全教育への産業界の協力に関する良好事例の調査と提供 (2020年、2021年)
工場見学等での安全教育、出前安全教育(実験)の好事例の映像等
- (3) 学校安全教育に関する産業界からの要望 (2020年、2021年)